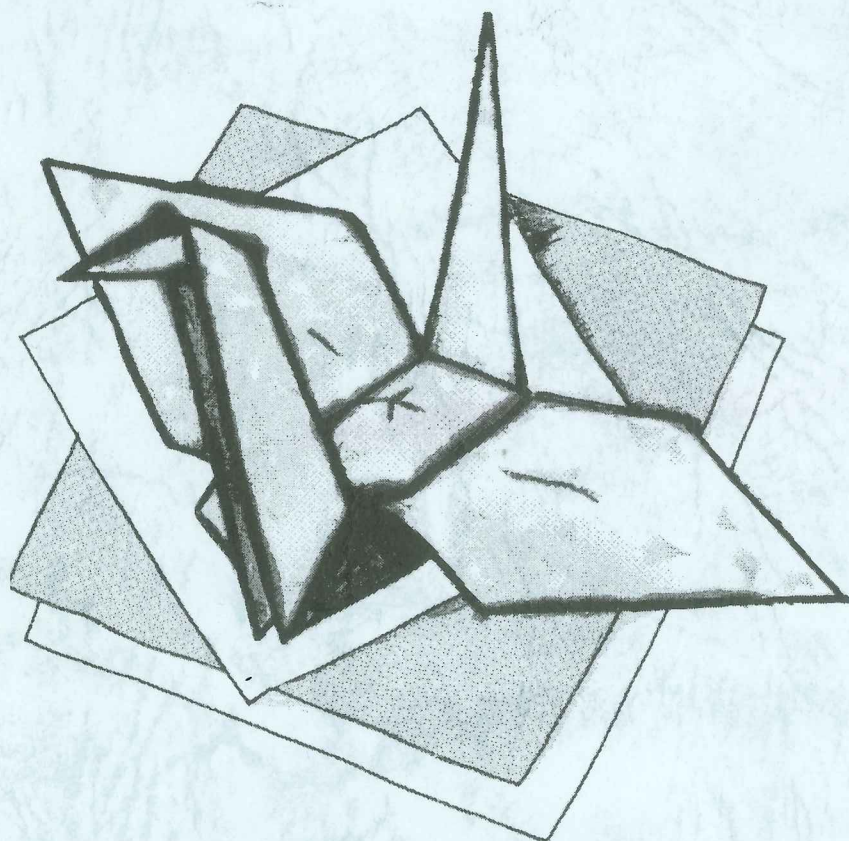


2005年度

戰後60周年平和事業記念誌



我孫子市

# 平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかしながら、今日なお世界の動きは、核戦争の危機をはらみ、誠に憂慮にたえない。

わが国は唯一の被爆国として、核兵器の恐ろしさと、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え、再び広島・長崎の惨禍を繰り返してはならない。

我孫子市は市民の生命と安全を守るため、いかなる国のいかなる核兵器に対しても、その廃絶を求め、ここに平和都市を宣言する。

昭和 60 年 12 月 3 日

我孫子市

# 平和の記念碑

## 碑文

街は静かな朝をむかえていた。  
昭和二十年八月六日午前八時十五分  
人類最初の原子爆弾は広島市に投下された。  
鋭い閃光を放ち爆発した原子爆弾は  
巨大な火の玉と化し  
熱線と爆風をこの街にたたきつけた。  
大人も子どもも街と共に消え失せた。  
この石は爆心地に近い広島市旧庁舎の  
側壁と敷石である。  
もの言わぬ被爆の証人として  
人々の心に訴えている。  
再び戦争というあやまちを  
繰り返してはならない…………と



### 平和の記念碑建立までのあしどり

- 昭和 60 年 12 月 2 日 広島市から、被爆した旧庁舎の敷石が譲与される
- 昭和 60 年 12 月 3 日 世界の恒久平和を願い平和都市を宣言する
- 昭和 61 年 7 月 31 日 手賀沼公園に平和の記念碑が完成する
- 昭和 61 年 8 月 6 日 除 幕

### 記念碑の概要

記念碑は、広島平和記念公園の原爆慰霊碑をモデルにしたハニワの家型のミカゲ石（高さ 1.9m 幅 2.2m 奥行 0.6m）で、その下に被爆した広島市の旧庁舎の側壁と敷石各一つずつを黒ミカゲ石の台座の上に配してある。

## 「戦後 60 周年平和事業記念誌」の発刊にあたって

我孫子市は、核兵器の廃絶と恒久平和を願い、1985年12月3日に「我孫子市平和都市宣言」を行いました。また同年、広島市から被爆した旧庁舎の敷石を譲り受け、翌年8月6日に平和の記念碑を建立しました。

それから毎年、我孫子市は市民の皆さんと一緒に平和事業に取り組んできました。

そして2005年は、終戦から60周年を迎えました。今日、「おじいさん」「おばあさん」も戦争を知らない世代になりつつあります。60年前の戦争の記録をきちんと次の世代に引き継ぐには、これが最後のチャンスになるのではないかと考えます。

また、現在も世界には多くの核が存在し、各地で争いが続いています。アメリカの同時多発テロからイラク戦争、その後の武力衝突。世界へのテロの拡大。憎しみと報復の連鎖が新たな暴力と犠牲者を生んでいます。60年前の戦争だけでなく、今の問題をしっかり考えていくことなしに平和事業は成り立ちません。

今回実施した事業は、市民14人と市職員で構成した「戦後60周年記念平和事業検討委員会」からの提案に基づくものです。また事業の運営は、市民22人が中心になった「戦後60周年記念平和事業運営委員会」の皆さんに担っていただきました。どちらの委員会にも、中学生、高校生、大学生の若い世代が参加し、大人と一緒にあって積極的に活動してくれました。

さらに各事業の実施にあたっては、多くの団体や個人の方々にご協力をいただきました。市の行政の力だけでは、これほどレベルが高く、また多彩な事業を行うことはできなかつたと思います。あらためて皆様に心から感謝申し上げます。

この冊子を一人でも多くの方にご覧いただき、平和を考える輪をさらに大きく広げていければと願っています。

2006年3月

我孫子市長 福 嶋 浩 彦

## 戦後 60 周年記念平和事業を終えて

1945 年 8 月 15 日以後今日までの 60 年間、わたしたちの国は、他国に軍事力をもって一度も攻め入ることをしませんでした。60 年前のこの日を機に、わたしたちは永遠の不戦を誓ったからです。二度と過ちは繰り返しませんからと。

また、世界で唯一の被爆国、被爆国民として、全世界に向けて、核兵器の悲惨さを訴え続け、核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」の非核三原則を永久に堅持することを表明しています。

今夏、戦後 60 年を迎えた我孫子市では、戦後生まれの人々が市民の中で約 7 割と、圧倒的多数を占めるようになっていました。それは、60 年前のわたしたちの国は何をしてきたのか、国民は何を信じ、何を願って、どう生きていたのか、幸せだったのかどうか、語る人も語れる人も少なくなったということでもあります。

今回、戦後 60 周年記念平和事業を実行するに当たり、こうした時の流れの中で、記憶として決して忘れてはならない多くの出来事が忘れさられつつあるのではないかという、ある種の危機感を抱きながら 19 の記念事業を運営しました。

ひとりでも多くの我孫子市民が、これらの記念事業に参加することによって、「戦争とは・平和とは何か」を自分の問題として受け止め、真摯に過去と向き合い、また今日までわたしたちが築いてきたものは何であったかを検証し、これから先どこへ向かったらよいのか考える力を沸かせられたらと、消えかけている“生の証言”をできるかぎり多く掘り起こして展示・紹介し、平和を希求する市民の手作りによるさまざまな催しを行い、さらに戦争を知らない世代、特に次世代を担う若者達が戦争と平和の問題を直視できるようにと、中学生を広島平和記念式典へ派遣しました。

今回の平和記念事業の試みが、真の平和をめざす我孫子市民の新たな第一歩になればと願っています。

2006 年 3 月

戦後 60 周年記念平和事業運営委員会

委員長 水 津 洸 一 郎

## もくじ

平和都市宣言文

平和の記念碑

「戦後 60 周年平和事業記念誌」の発刊にあたって（我孫子市長）

戦後 60 周年記念平和事業を終えて（運営委員会委員長）

### 第 1 部

戦後 60 周年記念 平和祈念文集

#### 【一般の部】

小学生だった私の戦中戦後の経験	安西 貞子／湖北台	3
戦中の思い出	五十嵐淑郎／都	5
加害者日本	石坂 巖／我孫子	7
東京大空襲 ー私のクラスは消えたー	岩村 曜子／白山	8
私の体験	岡村 英／湖北台	10
もう一度 「核兵器」について	おくだあきら／湖北台	12
受難の猛獣たちのうめき声 ～時局捨身動物たちの霊今いずこ～	織田 和男／若松	13
戦後 60 周年に思うこと	海津にいな／つくし野	15
昭和 20 年「3 月 10 日」と「8 月 14 日」……	笠松 経子／白山	17
戦中・戦後の諸々な体験から	栗原 忠聖／つくし野	18
生きているかぎり戦争は『ノー』と叫びつづけたい	栗山 栄子／中里	21
昭和ひとけた生まれの雑感	菊池 正伍／泉	23
十五年戦争をふり返って	早乙女菊王／高野山	25
祖父からの手紙	高藤 妙子／根戸	27
少年の目に灼きついた光景	高橋 健／湖北台	29
東京大空襲の体験を地震防災に	田中 威／青山台	31
父の戦死から 60 年私と私の家族は！	田中 良兼／我孫子	33
戦争体験記録 戦友は、私の手を握りながら死んだ 「いくさ」はいやです。	寺島 正蔵／日秀 としまさだこ／天王台	35 38

平和を祈りて	並木 公子／湖北台	40
「戦争の記憶」は「平和の希求」に	濱田 洋子／つくし野	42
戦争を許さないために	平林 健次／湖北台	44
爆撃機（B29）による空襲と焼夷弾事故	本田 弘／布佐平和台	46
前線基地トラック島にて	松原 勝／並木	48
百をめざして	的山ケイ子／新木野	50
東京大空襲二十年三月の体験	室山 俊彦／中峠	51
初めて神の声を聞いた少年の夏の日と、その前後の 体験の備忘録	森本 武明／湖北台	53
北朝鮮からの引揚げ	山口 明子／若松	55
子どもが巻き込まれた戦争	和田三千代／天王台	57

【聞き取りによる寄稿の部】（◇マークは、聞き取りボランティアの方の感想文です。）

学徒のシンガポール・ジャカルタ転戦記	尾崎 次敬／青山台	60
◇聞き取りボランティアの感想	齊藤 暁史／東我孫子	62
◇聞き取りボランティアの感想	左口 孝史／日秀	62
戦時中を省みて	香取 美雄／布佐	63
◇戦争での体験を初めてお聞きして	添田 敦子／都	64
◇想像することの大切さ	石堂 敬介／布佐	65
私の軍隊の思い出	千葉 忠／根戸	67
◇聞き取りボランティア「感想」	小泉 郁子／つくし野	69
◇聞き取りボランティア「感想」	立野 則子／我孫子	69
親も子も夢に向かって	中村 宏／寿	69
◇生まれて初めてボランティア活動に参加して	横尾 史子／高野山	72
◇『聞き書きを通して感じた事』	秋元 澄子／柴崎台	74
戦後60年におもうこと	星野 芳江／湖北台	75
◇聞き取りボランティアを体験して	星野 宏美／中峠	77
◇聞き取りボランティアを体験して	佐々木洋子／新木野	78
東京大空襲を生きて	山脇 しげ／寿	79
◇聞き取りボランティアとして 山脇 しげさ んのお話を聞いて、思ったこと・感じたこと	浅井 亮慈／高野山	81
◇聞き取りボランティア「感想」	竹下八千代／栄	82

【小学生・中学生・高校生の部】

戦争という環境と幸せという環境	塚本菜穂美／我孫子第一小6年	83
みんなが平和でいるために	藤原 淳寛／我孫子第二小5年	84
おたがいを理解し助けあう世の中に	木内 美友／我孫子第二小6年	85
人は、悲しみも越えて強くなる。でも、戦争は…	岡田 萌果／我孫子第三小6年	86
祖母の話を聞いて	荒川 潤／我孫子第四小6年	87
真剣な顔で見つめる少年	澤口 未希／湖北小6年	88
世界の人々と戦争	田崎 有佳／布佐小6年	90
原爆のおそろしさ	古川 達也／湖北台西小6年	91
戦争学習を終えて	高木 桃子／高野山小6年	92
「川とノリオ」を学習して	梅田 哲也／根戸小6年	93
世界の子供たちに平和を	星野 友香／湖北台東小6年	94
戦争はこわい	梶井あゆか／新木小4年	95
水曜日のロングの話	佐藤 徳保／新木小6年	96
朗読劇を聞いて	篠崎 仁美／新木小6年	96
広島のを聞いて	中田 千尋／新木小6年	97
広島のを聞いて	田中あゆこ／新木小6年	97
朗読劇を聞いて	鈴木 萌菜／新木小6年	98
戦争の恐ろしさ	大西 早紀／並木小6年	98
戦争中の人々の苦しさについて	池田 愛／並木小6年	100
戦争…「川とノリオ」を学習して	中島 諒子／並木小6年	101
六十年前の悲劇と市民ミュージカルへの参加	内形 優樹／布佐南小6年	102
戦争について	相田 麻衣／我孫子中3年	104
戦争の人権問題	大橋 健太／湖北中2年	105
戦争はいけない	照山 優太／湖北中2年	106
我孫子市戦後60周年記念事業参加者	(1) 赤沼 駿／布佐中3年	107
杉本さんの発表を聞いて	(2) 酒井 翔馬／ "	
	(3) 山崎 絵里／ "	
	(4) 濱田祥太郎／ "2年	
	(5) 森田 菜摘／ "	108
伝えたい言葉	野村 馨／布佐中1年	108
私が考える平和---ヌチドゥタカラ---	與五澤佳納／湖北台中3年	110



人々の大切なもの	古内 拓／久寺家中 2 年	111
戦争と平和について	郷田 親作／白山中 1 年	113
戦争	高岡 大／白山中 2 年	114
平和の基準	深水 実香／ 流経大付属柏高校 3 年	115
ミュージカル 戦後 60 周年と自分	鳴瀬 有香／ 取手松陽高校 2 年	116

## 第 2 部

### 2005 年度 我孫子市戦後 60 周年記念平和事業の記録

戦後 60 周年記念平和事業の概要とスケジュール	120
戦後 60 周年記念平和事業の写真	121
コンサート「地球のステージ」の公演	131
市内中学生の広島市平和記念式典への派遣	134
原爆の地「広島」を見てきた中学生のレポート	
映画「父と暮らせば」の上映	143
平和を語ろう	146
第 1 部 広島市平和記念式典出席者による発表会	
第 2 部 中学生、高校生、戦争体験者などによるリレートーク	
紛争国における市民の暮らしをテーマとした講演会	149
平和祈念コンサート・戦争に関する手記などの朗読	153
大戦当時の食の再現	157
朗読劇「この子たちの夏」の中学校での公演	160
戦争体験者による学校での講演会	164
平和に関するビデオの学校での上映	165
§ 原爆に関する写真展	166
§ 平和記念式典	167
§ 朗読劇「この子たちの夏」の公演	168
§ ミュージカル「バレンタイン・ドリーム」の公演	171
§ 平和をテーマに「国際交流スピーチ大会」と「ユネスコ理事長による平和記念講演会」	174

(§ マークは、関連事業として実施されました。)

### 第3部

#### 戦争に関する資料展示「戦争を知らない子どもたちへ from あびこ」

展示の概要	179
展示事業のポスター	180
展示会場に掲示した「市長からのメッセージ」	181
展示の様子「写真、レイアウト図」	182
資料提供者・協力団体一覧	182
写真	183
展示会場に掲示した「年表」	185
展示事業への意見（アンケート結果）	188

### 第4部

#### 中学生の発表やリレートークの記録、講演録

「平和を語ろう」の記録 第1部：中学生による発表、第2部：リレートーク	193
「戦争と平和」講演録 イラク市民の暮らしと平和を考える	235
講演者への質問要旨と講演者のコメント	

### 資料

各種事業への協力者一覧	305
我孫子市戦後60周年記念平和事業検討委員会 委員名簿	308
我孫子市戦後60周年記念平和事業運営委員会 委員名簿	309
用語解説	310

### 編集後記